【資料 4−3】授業時間外学習を促す工夫

（教員アンケート　2012(H24) 年 6 月・2015(H27) 年 7 月・2017(H29) 年 7 月実施）

項目・内容		学部教育				大学院教育				全学共通教育			
		2012 (H24) 件数	2015 (H27) 件数	2017 (H29) 件数	具体例	2012 (H24) 件数	2015 (H27) 件数	2017 (H29) 件数	具体例	2012 (H24) 件数	2015 (H27) 件数	2017 (H29) 件数	具体例
情報の提供	教科書・参考書の提示	2	2	2		4	2	2		1		2	
	必読書籍・論文の提示	1	2	3			4	5		1	3	2	
	関連資料（文献・書籍・資料等）の紹介	6	4	2		8	4	4		2	3	3	・シラバスに掲載
	関連情報掲載の URL を紹介	1				2				2			
資料・教材	講義資料の WEB 掲載	1				1		1		1	2	1	
	講義資料の事前配布	1	3	3			3	3				1	
	その他				・シラバスに資料の提示								
講義内	プレゼンテーションの活用	3	4	4	・プレゼンの事前指導 ・大学院生と学部生とをペアにする	2	8	5		1	3	2	・レジュメの作成
	討論・議論型授業	1	2			1	1	3				2	
	準備学習・復習の指導		2		・学生自身よる設問設定 ・事前に資料を読み、質問・意見を当日提出 ・速読・精読部分を予め指示	1	1	9	・講義内で時間外学習が進むように基礎的部分を指導 ・予習したものを提出させ、添削 ・説明担当箇所を事前に決定 ・準備学習の指示	5	3	3	・準備学習の指示
課題	宿題の提示（レポート・小テスト・演習等）	20	10	16	・講義内では終わらない課題を出す ・自分で考える学習内容を選ぶ	12	7	11		24	20	29	・毎回課題を課し、採点して返却、質問への回答 ・グループ課題を課す ・期末レポートを早めに提示
	自主学習用の問題等の提示	2	1	1		3	1			3	6	2	
	野外調査	1	1	2		1	1	1		1	1	1	・時間外の野外実習
その他	学生主導ゼミ・勉強会の推奨	2	1			2	2						
	メールによる学習指導					1		2		1			
	学習支援システム（PandA）の活用		1	1			1	2			1	6	
	定期的な研究進捗状況の報告	1		1		1	3	4	・研究成果報告会				
	時間外指導時間の確保	1		1		1	5	1			2		
	授業時間外学習時間の確保	1		2		2				1		3	
	その他				・学問の魅力と意義を伝える ・学修成果の将来的な寄与や発展を伝える ・シラバスによる準備学習の指示 ・毎回コメントを提出させる ・受講生間の話し合いで、分担箇所の割り当てを行う				・シラバスによる準備学習の指示 ・分野で組織的な履修指導 ・院生や他の研究者との交流 ・時間外の研究会や個別指導				・シラバスに準備学習の指示 ・演習問題・宿題に対する略解を KULASIS で公開 ・毎回の授業の成果等記載する自己記録帳の作成（学期終了後にレポートとして提出） ・CALL の活用 ・eLearning の活用 ・TA の活用（事前学習の指導）